

2. 日野市の自然環境に関する中央大学生の意識調査

～日野市と中央大学経済学部との連携事業～

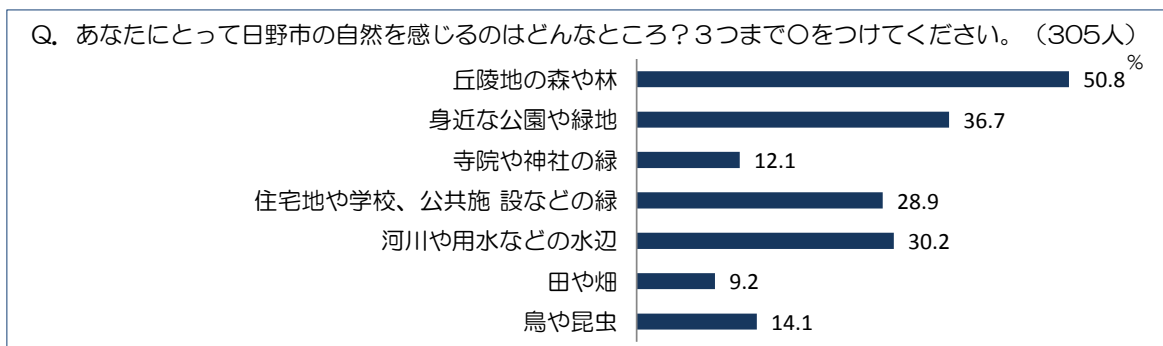
若い人たちは日野の自然環境をどのように見ているのでしょうか？ ～中央大学多摩キャンパスの学生305人に聞きました～

環境情報センター・中央大学経済学部田中ゼミ 2015年12月

日野市(環境情報センター)と中央大学経済学部は、地域の環境改善に向けた協働事業に取り組んでいます。このたび今年度の協働事業の一環として、経済学部田中ゼミの学生が中心となって中央大学多摩キャンパスに通う学生305人を対象に「日野市の自然に関するアンケート調査」を実施しました。若い世代の日野市の自然環境に対する関心度と評価について、学生たちがまとめた調査結果の概要を報告します。

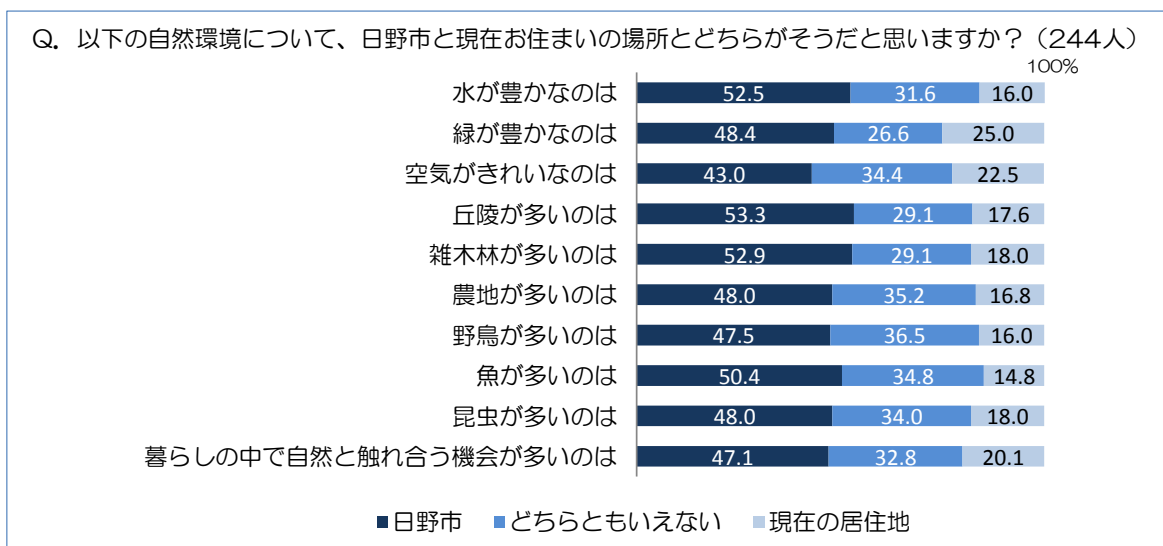
調査は今年の10月1日から8日までインターネットで行い、対象者は305人、男女比はほぼ半々。日野市外から通っている学生が88% 267人でした。主な調査結果は以下の通りです。

●日野市の自然を感じる場所トップ3は「丘陵地の森や林」「身近な公園や緑地」「河川や用水などの水辺」でした。“水と緑の日野”は若い人にもしっかり実感されています。

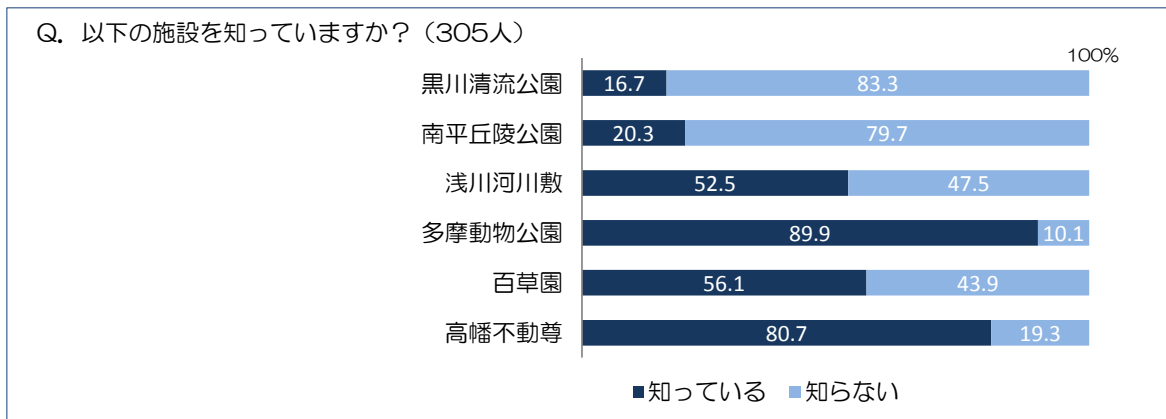


●市の鳥が「カワセミ」であること、日野市が「水の郷」と呼ばれるほど湧水など水が豊富なことを知っているのは、それぞれ9.5%、9.8%と10人に1人ほどです。(305人)

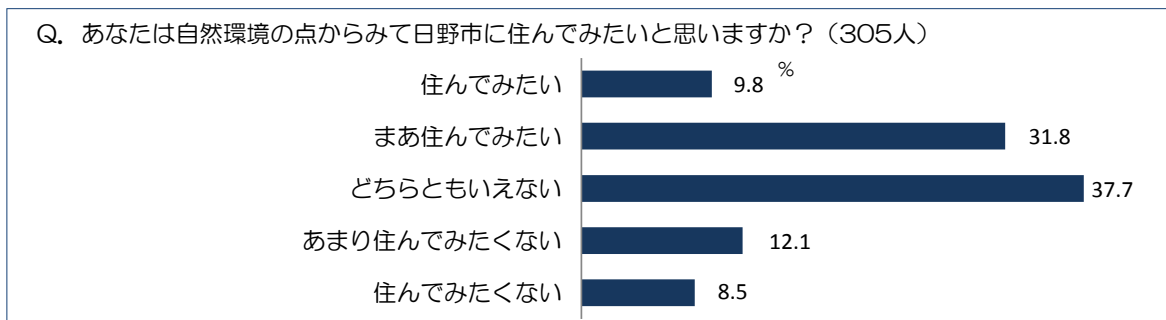
●日野市以外から通っている学生(回答者244人)に、以下にあげた自然環境のそれぞれについて日野市と現在住んでいるところと比べて、どちらがそう思うかを聞きました。いずれの項目も日野市に軍配があがりましたが、中でも多かったのは「丘陵の多さ」「雑木林の多さ」「水の豊かさ」、そして市内で河川や用水を多く目にするためでしょうか「魚の多さ」もあげられました。日野市の自然の豊かさは市外の人にも認められているようです。



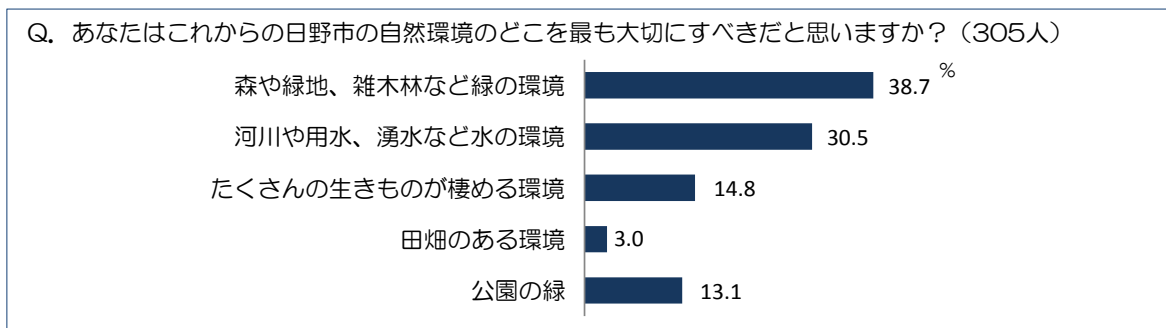
●市内の公園や施設についての認知度をみると、知っている人が最も多かったのは「多摩動物公園」90%、次いで多かったのは「高幡不動尊」81%でしたが、日野市の水と緑を象徴する「黒川清流公園」は対象者の約9割が市外の居住者ということもありますが17%と低く、もっと積極的にPRする必要があるようです。



●「自然環境の点から日野市に住んでみたいか」を聞いたところ、「住んでみたい」「まあ住んでみたい」あわせて42%、「どちらともいえない」が38%でした。日野市の自然を評価しながらも都心の利便性も魅力、というジレンマがあるのかもしれませんが。



●これから最も大切にすべき日野市の自然環境については「森や緑地、雑木林など緑の環境」が39%で最も多く、「河川や用水、湧水など水の環境」が31%で続きます。



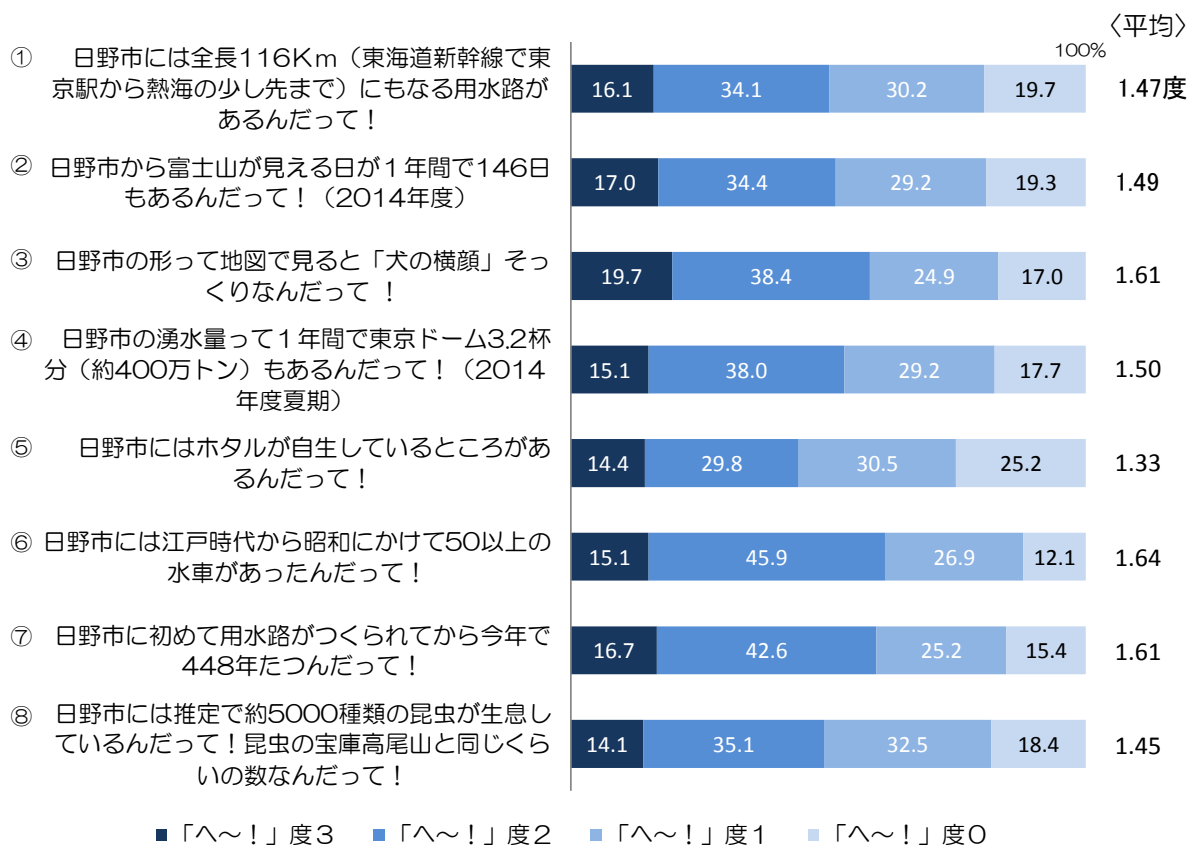
■調査を行った学生たちは、「“水と緑”は日野市のアイデンティティとしてこれからも市民みんなで守っていかなくてはならない」「日野市の“水と緑”の環境をもっとアピールし、その存在を知ってもらい、その現場に足を運んでもらえるような具体的な広報や宣伝が必要」、そして「少なくとも中大生は日野市に対して好感を持っていることは間違いないようだ」と分析しています。

■環境情報センターとしても、これらの調査結果をもとに学生たちと日野市の目指すべき自然のあり方やそのPRの施策について考えていきたいと思っています。

学生たちに 日野市の「へ～！ そうなんだ」も聞いてみました

日野市には「聞いてびっくり！」や「知らなかったなー！」という事柄がいろいろあります。学生たちにそんな事柄への反応を「へ～！ そうなんだ」の程度で聞いてみました。

Q. 日野市にはいろいろな「へ～！ そうなんだ」があります。以下の事柄にあなたは「へ～！」をいくつつけますか？「へ～！」度0（なし）から3（高い）でお答えください。



●「へ～！ そうなんだ」度の平均値をみると、最も高かったのは ⑥「日野市には江戸時代から昭和にかけて50以上の水車があったんだって」で平均「へ～！」度は1.64でした。次いで、③「日野市の形って地図で見ると“犬の横顔”そっくりなんだって」と⑦「日野市に初めて用水路がつくられてから今年で448年たつんだって」がともに1.61で続きます。最も低かったのは⑤「日野市にはホタルが自生しているところがあるんだって」の1.33でした。水と緑が豊富な日野市ならホタルがいるだろうな、と思ったのかもかもしれません。また「へ～！」度3の割合が最も高かったのは ③「日野市の形って地図で見ると“犬の横顔”そっくりなんだって」で約20%でした。あらためて地図を見て「へ～、ほんとだ」と思った人が多かったでしょう。

*④の年間湧水量は夏期の湧水量をもとに算出したものです。冬の湧水量は夏より少ない傾向があります。

■調査を行った学生たちの感想は、「日野市にはみんなが知らない情報がたくさんある。どれも面白く話題性もありそう。日野市の認知度アップにもつながると思われるので、効果的に広めることが必要」というものでした。